

九州女子大学 三つのポリシー（DP・CP・AP）一覧表

学則第3条（学是）	<p>本学の建学の精神は、自らの良心に従い事に処し善を行うことである。この学是「自律処行」は、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成することを目的とする。</p>
-----------	---

人材養成及び教育研究上の目的	<p>学則第3条の2 家政学部は、学是「自律処行」の理念に立脚し、共生・健康・福祉の視点から、教育・研究を行い、各専門分野の知識・技術と幅広い教養を身につけ、社会に貢献できる豊かな人間性と倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 (1) 人間生活学科は、人間の生活を、共生と再生の観点から、生活経営、情報を基礎として、衣・食・居住環境の各領域から科学的に解明できる素養をもった人材の育成を目的とする。 (2) 栄養学科は、食と栄養に関する高度な専門性と広い視野を備え、人々の健康と福祉に貢献できる人間性豊かな管理栄養士の育成を目的とする。</p>	<p>学則第3条の3 人間科学部は、学是「自律処行」の理念に立脚し、文化に関連する学問領域と人間の発達にかかわる学問領域において高度な専門的教育・研究を行い、国際感覚と幅広い教養を身につけ、高度な専門性を持って地域社会に貢献できる人材を育成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 (1) 人間発達学科は、人間が豊かに暮らす社会・文化を創造する広い視野と学際的教養及び人間の発達についての専門的知識と技能を身につけ、乳幼児から高齢者に至るまで全世代の人々、及び障害者が豊かに共生しうる地域社会を創造・実現していく専門的職業人を育成することを目的とする。 人間発達学科の教育目標を実現するために、学科に「人間発達学専攻」、「人間基礎学専攻」の2専攻を置き、各専攻の教育目標を次のとおりとする。 イ 人間発達学専攻は、多様な人間の発達及び対人援助について専門的知識と技能を身につけ、発達諸問題に対応できる柔軟で創造的な人材の育成を目的とする。 ロ 人間基礎学専攻は、幅広い教養を併せて心理学・日本文化及び情報処理等に関する実践的能力や免許・資格を有する人材の育成を目的とする。</p>
----------------	--	---

	大学全体	人間生活学科	栄養学科	人間発達学科人間発達学専攻	人間発達学科人間基礎学専攻
卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー】(DP)	<p>本学は、学是「自律処行」の理念のもとに、各学科の課程を修め、所定の期間在学し、所定の単位修得と必修等の条件を充たしたうえで、自らの考えを組み立て、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することを旨とします。この基本理念のもとに強くてしなやかな女性を育成することを目的とします。 その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（DP）を3つの領域（知識・理解、汎用的技能、態度・志向性）から構成し定め、目標を達成して卒業する学生に学位を授与します。 知識・理解 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連つけて理解している。 汎用的技能 日本語を始めとする複数の言語及び多様なコミュニケーションの方法を用いて他者と円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むための課題発見力、論理的思考力及び課題解決力を有している。 態度・志向性 自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、他者と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする態度を有している。</p>	<p>人間生活学科では、衣・食・住の知識・技能・社会のルールに従った態度等を修得し、これらをもとに自らの考えを組み立て、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することを旨とします。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <p>知識・理解 家政学士として相応しい教養を身につけ、衣分野・食分野・住分野それぞれの知識、技術および考え方を体系的に理解し、科学的に解明できる。</p> <p>汎用的技能 1. 衣分野・食分野・住分野それぞれの知識、技術を用いて、社会に求められる情報を提供することができる。 2. 地域や社会における課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を有している。</p> <p>態度・志向性 自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動し、地域や社会の一員としての意識を持って、協調性を発揮し、学びを活かして地域・社会に貢献することができる。</p>	<p>栄養学科では、管理栄養士に求められる知識・技能・社会のルールに従った態度等を修得し、自らの考えを組み立てることで、課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することを旨とします。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <p>知識・理解 管理栄養士として相応しい教養を身につけ、専門領域の知識、技術を修得し、理解している。</p> <p>汎用的技能 1. 管理栄養士としてのコミュニケーション・スキルとホスピタリティを身につけている。 2. 食と栄養の課題に取り組むための課題発見、論理的思考力及び課題解決力を有している。</p> <p>態度・志向性 自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動し、協調性を有して、人々の健康と福祉に貢献することができる。</p>	<p>人間発達学専攻では、教育者・保育者に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することができることを旨とします。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <p>知識・理解 教育者・保育者に相応しい広い視野と学際的教養を身につけ、専門領域の知識・技能および考え方を体系的・構造的に理解している。</p> <p>汎用的技能 1. 子どもを取り巻く人的環境・特性を理解し、子どもや保護者などとの円滑なコミュニケーションをとることができる。 2. 教育・保育における課題に対して、課題発見・解決能力、論理的思考力を有している。</p> <p>態度・志向性 将来の教育者・保育者として自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動し、協調性を有して、地域や社会の発展のために積極的に貢献することができる。</p>	<p>人間基礎学専攻では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することができることを旨とします。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <p>知識・理解 教育者・企業人に相応しい広い視野と学際的教養を身につけ、専門的な知識や技能を、教育や企業のあり方と結びつけて理解している。</p> <p>汎用的技能 1. 社会人としてのコミュニケーション・スキル及び情報リテラシーを身につけ、活用することができる。 2. 教育・企業社会における課題に対して、課題発見・解決能力、論理的思考力を有している。</p> <p>態度・志向性 将来の教育者・企業人として自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動し、地域や社会の発展のために積極的に貢献しようとするすることができる。</p>
教育課程編成・実施の方針【カリキュラム・ポリシー】(CP)	<p>本学では、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 教育内容 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目は、心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2. 専門教育科目は、各学科・専攻の専門教育と教養教育との連携強化を図り、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。</p> <p>教育方法 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学び（アクティブラーニング）を引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業などの多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 海外研修や実習などの体験的な学習活動を実施する。</p> <p>教育評価 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 各学科においては、所定の学年終了時に一定以上の修得を課すこととする。</p>	<p>人間生活学科では、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 教育内容 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、専門分野を3分野（衣生活、食生活、住生活）に分類させ、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 2. 専門分野の3分野の基幹科目として人間生活基礎科目を設置し、これら分野と関連づけ、目的に応じ科学的に解明できるように分野ごとに専門教育科目を配置する。 3. 専門的な知識と技術をより深く理解するための実験・実習・演習を充実させる。</p> <p>教育方法 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 2. 実験・実習・演習においてはグループ学習を取り入れ、協調性を身につけるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究は、身につけた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな個別指導を実施する。</p> <p>教育評価 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. 2年生終了時には、それまでの専門教育科目の必修科目の一定以上の修得を課すこととする。 3. 4年間の学修成果は、卒業研究（必修）によって、総合的に評価する。</p>	<p>栄養学科では、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 教育内容 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、管理栄養士として必要な食と栄養および健康・福祉に関する専門的知識と技術を体系的に学べるように科目を配置する。 2. 専門基礎分野として「社会・環境と健康」、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「食・食べ物と健康」の領域の科目を配置する。 3. 専門分野として「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「栄養教育論」、「臨床栄養学」、「公衆栄養学」、「給食経営管理論」の領域の科目を配置する。 4. 専門的な知識と技術をより深く理解するための実験・実習を充実させる。</p> <p>教育方法 1. 管理栄養士国家試験受験資格取得を目指して外部模擬試験やe-ラーニングを導入し、きめ細やかな個別指導を行うなど、徹底した管理栄養士養成教育を実施する。 2. 実験・実習・演習においてはグループ学習を取り入れ、協調性を身につけるとともに、問題解決能力を育成する。 3. 臨地実習は、実践活動の場での問題発見、解決を通して専門知識と技術の統合を図り、管理栄養士としての実践能力を身につける。</p> <p>教育評価 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. 2年生および3年生終了時には、それまでの専門教育科目の必修科目の一定以上の修得を課すこととする。 3. 4年間の学修成果は、管理栄養士総合演習（必修）によって、総合的に評価する。</p>	<p>人間発達学専攻では、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 教育内容 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、児童発達コースと乳幼児発達コースの2コースで構成し、人間の発達に関する専門的知識と技術を学ぶことができるように、系統的に科目を配置する。 2. 専門教育科目は、「児童発達」、「乳幼児発達」、「特別支援教育」の3分野で構成し、基礎科目と基幹科目に区分し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるよう科目を配置する。</p> <p>教育方法 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 2. 演習・実験・実習においてはグループ学習を取り入れ、協調性を身につけるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究論文は、身につけた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな個別指導を実施する。</p> <p>教育評価 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. 2年生終了時には、それまでの配当授業科目のうち、一定以上の修得を課すこととする。 3. 4年間の学修成果は、卒業研究論文（必修）によって、総合的に評価する。</p>	<p>人間基礎学専攻では、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 教育内容 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、心理学、国語・書道、図書館・情報の3コースで構成し、心理学・日本文化及び情報処理等に関する実践的能力や免許・資格に関する専門的知識と技術を学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、「心理学」、「国語・書道」、「図書館・情報」の3分野で構成し、基礎科目と基幹科目に区分し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるよう科目を配置する。</p> <p>教育方法 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 2. 演習・実験・実習においてはグループ学習を取り入れ、協調性を身につけるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究論文は、身につけた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな個別指導を実施する。</p> <p>教育評価 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. 2年生終了時には、それまでの配当授業科目のうち、一定以上の修得を課すこととする。 3. 4年間の学修成果は、卒業研究論文（必修）によって、総合的に評価する。</p>
入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー】(AP)	<p>本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げた目標を強い意志を持って達成しようとする人を受け入れます。 また、高等学校もしくは中等教育学校において、それぞれの学科・専攻が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（CP）をよく理解し、各学科・専攻の教育目標に添って真摯に学問修得に励む次のような人を広く求めます。</p>	<p>人間生活学科は卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、安全・安心・快適な衣生活、食生活、住生活を創造し、科学的に追求します。 入学者には次のような人を求めます。</p> <p>1. 高等学校もしくは中等教育学校で、全ての科目の基礎となる国語・英語と家庭科を中心とした基礎学力を身につけている。（知識・技能） 2. より良い生活を実現するために広い視野から柔軟な思考や判断を試みることができる。（思考力・判断力・表現力） 3. 部活動やボランティア活動等、人や地域と積極的にかかわろうとする意欲がある。（主体性・協働性）</p>	<p>栄養学科は卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、食と栄養に関する高度な専門性を追求します。 入学者には次のような人を求めます。</p> <p>1. 高等学校もしくは中等教育学校で、食品と栄養素や人体の構造と機能、疾病などの理解に必要な基礎学力を身につけている。（知識・技能） 2. 食と栄養、健康、医療、福祉について関心を持ち、論理的思考力、課題解決力を有する管理栄養士として働く意欲がある。（思考力・判断力・表現力） 3. 主体性をもって行動し、他の者との協調性を発揮できる。（主体性・協働性）</p>	<p>人間発達学専攻は卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、人間の発達や社会との関わりについて強い関心を持ち、習得した知識や技能を教育や保育を通して他者のために生かして、積極的に社会に貢献することを目指します。 入学者には次のような人を求めます。</p> <p>1. 高等学校もしくは中等教育学校で、基礎学力およびコミュニケーション力を身につけている。（知識・技能） 2. 子どもと実際に関わっていくために必要な論理的思考および表現力を持つとともに課題解決力を持っている。（思考力・判断力・表現力） 3. 人間のこころ、育ちや教育について興味・関心を持ち、教育者・保育者として、他者への思いやり、地域・社会に貢献しようとする意志を持っている。（主体性・協働性）</p>	<p>人間基礎学専攻は卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、人間の心理や文化に強い関心を持ち、これらに関する知識や技能を深めることに熱意を持ち、教育や文化の創造・発信を通して社会に貢献しようとする意志を持っている。（主体性・協働性）</p>